

記入例

平成 23 年 10 月 17 日
日本海難防止協会

東北地方太平洋沖地震に伴う津波来襲時の船舶の避難行動 と被災状況等に係るアンケート

A 船舶の要目等

- 1 船名 例 日海丸
- 2 総トン数 例 50,000 GRT
- 3 長さ 例 230 m
- 4 船種 例 タンカー
- 5 積荷 例 LPG
- 6 スラスター装備 なし あり 推力_____
- 7 乗組員数 例 21名
- 8 連絡先（会社名、電話番号） 例 日海海運 運航部 電話 03-2222-3333
- 9 前港_____ 仕向港_____

B 津波情報・避難勧告の入手

- 1 地震発生時に津波の来襲を予想したか 有 無
- 2 津波情報入手の有無と入手時刻 有 無 例 1500
- 3 津波情報の入手先 テレビ・ラジオ 港長・海上保安部署 代理店
ターミナル その他（例 バースマスター）
- 4 津波情報の入手手段 一般電話 衛星電話 携帯電話 VHF
NAVTEX 口頭 巡視船広報 その他（例 インターネット）
- 5 津波の来襲状況
最初に感じた津波の時間・大きさ 例 1520 1 m
最も大きかった津波の時間・大きさ(何回目) 例 1550 7 m (2回目)
- 6 港長の避難勧告の入手の有無と入手時刻 有 無 例 1505
- 7 港長の避難勧告の入手先 港長・海上保安部署 代理店 ターミナル
その他（例 バースマスター）
- 8 港長の避難勧告の入手手段 一般電話 衛星電話 携帯電話 VHF
口頭 巡視船広報 その他（例 インターネット）

C 発災時の船位・状態

- 1 発災時の船位 例 塩釜港 危険物 A ターミナル B 岸壁
- 2 発災時の状態 荷役中 荷役準備中
岸壁係留中（出船 入船） 着岸作業中（出船 入船）

- 航行中 錨泊中 漂泊中 その他 ()
- 3 発災時の喫水 _____m 満載 半載 軽荷
- 4 発災時の乗組員の在船者数 例 15名

D 発災時の通信事情

- 1 通信可能であった手段 VHF 携帯電話 メール その他 ()
- 2 発災時に使用した通信手段 VHF 携帯電話 メール その他 ()

E 発災時にとった措置

- 1 発災時にとった措置 避難行動 保船行動 その他 (例 何も出来ず)
- 2 とった措置が結果として成功したか否か 成功 概ね成功 失敗
その他 (例 判断できず)
- 3 発災時の具体的措置 緊急離棧 岸壁係留 錨泊 総員退船・船体放棄
- 4 それを最終決定した者 船長 船舶所有者 荷主 運航会社 その他
- 5 それを判断した基準(きっかけ) 避難勧告 津波情報 地震発生
会社指示 その他(例 他船の動き)
- 6 荷役停止の有無とその理由、発令から停止までに要した時間 有 無
理由: 例 停電のためできず
時間: 例 約・・・時間
- 7 増しもやいの有無 有 無
- 8 増し錨の有無 有 無
- 9 機関起動の有無 有 無 起動中
- 10 曳船の使用の有無、到着までに要した時間 有 無 _____
- 11 陸上支援(もやい離し)の有無、解らんまでに要した時間 有 無 _____
- 12 パイロット乗船の有無、乗船までに要した時間 有 無 _____
(通常時のパイロットの乗船: 有 無)
- 13 避難場所 港内錨地 港外
- 14 避難場所までに要した時間 1時間内 2時間内 3時間内 4時間内
4時間以上
- 15 避難場所における措置 単錨泊 双錨泊 漂泊 その他(例 航走)
- 16 津波来襲時における緊急離棧時の操船概要(時系列)
例 1446 地震感知 1500 津波注意報入手・船内外に緊急離棧発令 1505 主機起動 1510 前後部曳船索取る 1520 全もやい索放す。タグで引出し離棧
- 17 津波来襲時における港外避難の操船概要(時系列)
例 1520 タグ引出し中津波感知、タグ・スラスター・主機を併用し港口向け回頭しようとするも津波の影響(高さ1m 流速1kt)で回頭困難、港内奥に圧流。1535・・・
- 18 今回の措置でうまくいった(機能した)事、うまくいかなかった(機能しなかった)事、今後改善すべき点、意見、要望など
例 緊急時における荷役停止作業がマニュアルどおりにうまく機能したが、在船する乗組

員が少なく、入船係留であったこともあり、港外退避に多くの困難を伴った。今後、緊急離棧、港外退避をより迅速的確安全に行うためには、津波来襲の虞が高い港に出入りする船舶に対し、予め出船係留と乗組員全員の在船の指導が急務と思料。

F 被災の状況

- 1 船体・機関等の被害の有無 有 無
- 2 船舶海難の種類
衝突 (他船 岸壁) 乗揚げ (陸上 港内座礁) 浸水 転覆
沈没 その他 (例 火災)
- 3 被害状況 係留策切断 擦過傷 圧損 亀裂 破口 機関室浸水
全損 その他(例 錨鎖切断)
- 4 被害時にとった措置の有無とその内容 有 無
例 会社への連絡とガソリンポンプによる応急排水
- 5 回航時の支援の有無とその内容 有 (例 曳船 2 隻) 無
- 6 乗組員の被害の有無とその内容 有 (例 2 人、軽微な打撲) 無

G 津波後の航行安全情報

- 1 震災にかかる航行安全情報を利用したか 大いに利用した 利用した
余り利用しなかった 利用しなかった
- 2 航行安全情報の入手先 海上保安庁 代理店 その他 ()
- 3 航行安全情報が役立ったか 大いに役立った 役立った
余り役立たなかった 役立たなかった
- 4 役立った航行安全情報は 漂流物情報 灯台・ブイの消失情報 港湾情報
その他 ()
- 5 航行安全情報の入手手段 NAVTEX VHF 海上保安庁の MICS
その他 ()
- 6 今後必要と思われる航行安全情報等
例 岸壁の状況等の港内情報、水・食料・燃料等の補給に関する情報
例 携帯メールによる情報提供等